

八王子市災害対策本部運営訓練を実施しました

～理事者及び市幹部による図上訓練を実施～

本日、市長をはじめ理事者及び市の幹部を対象とした図上訓練を実施しました。

今までにも、消防関係者など災害対策の専門家をお招きした訓練を実施してきましたが、今回は、都市防災計画や復興都市計画の専門家である首都大学東京 都市環境科学研究科の市古 太郎（いちこ たろう）教授をお招きして、「災害時にトップがなすべきこと」に関する講演や訓練指導を行っていただきました。

本年は、防災クロスロードという訓練を行い、大地震後の風水害対応における課題等について、議論を行いました。

訓練を通じて、様々な意見や価値観・視点を共有し、正解がない災害対応における状況分析判断能力等の向上を図りました。

【防災クロスロードとは】

クロスロードとは「岐路、分かれ道」のことであり、阪神・淡路大震災の経験や知恵を元に作られた訓練です。災害対応時における正解のない厳しい決断を疑似的に体験し、状況分析判断能力の向上を図る災害対応訓練です。



◆市長をはじめ理事者も参加



◆図上訓練では市古教授から適切な指導

<問い合わせ> 生活安全部防災課長 菅野 英之
電話042-620-7208